
食肉科研/行政情報等発信サービス

No.288 2021/10/18

1 国際がん研究機関(IARC)が「Nutri-Score：科学的根拠に基づく包装前面栄養表示」を発表

食品安全委員会の食品安全関係情報（10月1日付）は、国際がん研究機関(IARC)が9月1日、「Nutri-Score：科学的根拠に基づく包装前面栄養表示」と題した新しいIARC Evidence Summary Brief（以下「報告書」）を発表し、Nutri-Scoreの義務的使用が急務であることを公表した旨紹介している。その概要は以下のとおり。

- ・報告書は、食品の栄養価を評価する明確でシンプルな包装前面栄養表示であるNutri-Scoreが、消費者をより健康的な食品の選択へと導くための効果的なツールであることを明らかにしている。
- ・報告書は、科学的根拠に基づき、他の栄養ラベルに対するNutri-Scoreの優位性を強調しており、消費者のがん等の非伝染性疾患のリスク低減を促進するために、欧州とその域外で広く体系的に採用されることを求めている。
- ・Nutri-Scoreは、英国食品基準局の栄養プロファイリングシステム(修正版)(FSAm-NPS)をベースに、ラベル表示の目的に合わせて改良したものである。欧州の多様な人々を対象とした大規模な前向きコホートによる疫学分析は、FSAm-NPSスコアの高い食品(Nutri-Scoreの評価が低く、栄養価が低い食品に相当)を多く摂取している人は、がんのリスクが高だけでなく全体的な死亡率、より具体的には、がんや循環器系、呼吸器系、消化器系疾患による死亡率が高いことを明らかにしている。
- ・その科学的根拠に基づき、Nutri-Scoreはすでに欧州のいくつかの国(ベルギー、フランス、ドイツ、ルクセンブルグ、オランダ、スペイン、スイス)で採用されており、数ヶ月前から欧州委員会の議論の中心となっている。
- ・2020年5月、欧州委員会は「Farm to Fork戦略」の一環として、調和のとれた義務的な包装前面の栄養表示を、2022年末までに欧州で採用することを発表した。

<http://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/show/syu05680660298>

(注) Nutri-Scoreは、加工食品100gあたりに含む糖分、塩分、食物繊維等の含有量に基づきその食品の栄養スコアを5段階(A~E)にランク分けし、ランクとカラーロゴとともに包装の前面に表示する。栄養価が最も高いものはカテゴリーA(ダークグリーン)、最も低いものはカテゴリーE(ダークオレンジ)となる。